

目指す学校像

笑顔あふれる学校
行きたい学校
行かせたい学校

①【**学力保障**】

「わかった・できた・やってみたい」実感を伴ったわくわくする分かりやすい授業の学校

②【**協働調和**】

人のために尽くす心や思いやりがあふれる和やかでのびのびできる学校

③【**自己肯定感**】

子どもの居場所や活躍の場が確保されいきいきと生活できる学校

④【**開かれた学校**】

地域・保護者と共に歩む学校

学校教育目標

〈たくましい生活力と英知に富んだ児童の育成〉

目指す児童像

○**心おおらかで あたたかい子**

・人と関わりながら、相手を思いやり自分も人も大切にします

○**すすんで学習し よく考える子**

・自分から学び、自分で正しく判断・行動し、よりよく課題を解決しようとする子

○**よくはたらき 協力する子**

・みんなのために進んで働き考えの異なる人とも協力できる子

○**あかるく元気で がんばる子**

・誰にでも挨拶ができ、最後まで粘り強く取り組む心身の強い子

目指す教職員像

力を合わせ、高め合う教職員

①子どもを大切にし人権的な配慮や子どもにあった対応がとれる教職員

②子どものよさに気づきそれを伸ばす教職員

③協働して教育活動や学校づくりに努力する教職員

④明確な目標を持ち主体的に教育活動に取り組む教職員

教育活動

学校経営方針

わくわく、のびのび、いきいきできる学校の創造

【3つの柱】

①**授業と学校生活が楽しい学校【わくわく】**

- ・校内研究を中核として授業改善をはかり、一人ひとりの児童が、楽しい授業・わかる授業・考えたい授業を創造する。
- ・一人ひとり児童が自分のよさや居場所、活躍の場を実感できる学校をつくる。

②**自分も相手も大切にできる力を育む学校【のびのび】**

- ・挨拶や正しい言葉遣い、相手に対する思いやりなど、ふるまいの向上をはかる。
- ・学年に応じ、自分のことは自分でできる（自分のことを伝える）力を育てる。
- ・良いことは褒め、「ダメなことはダメ」と明確な指導を行い善悪の判断力を育てる。

③**健康な心身と安全に暮らす力を育む学校【生き生き】**

- ・外遊びの励行・運動の日常化に取り組む。
- ・保健指導・食育を通し、自分の体に関心を持たせ、自分で健康な体を作る力を育む。
- ・各種訓練を定期的に行い非常時の行動を身につける。

**知 「わくわくする授業」
確かな学力を育むために**

- ①校内研究を中核に指導方法の改善と共有化
- ②伝えあう力の育成
- ③問題解決学習、体験的学習の推進
- ④特別支援教育の充実
- ⑤情報教育の推進
- ⑥指導と評価の一体化
- ⑦地域教育力の活用

**徳 「のびのびとした心」
豊かな心・思いやりを育むために**

- ①道徳教育の充実
- ②児童理解・児童指導の充実
- ③いじめ、不登校への迅速で継続的な対応
- ④人間関係を築く学年・学級経営
- ⑤特別活動の充実
- ⑥人権・福祉・共生教育の推進

**体 「いきいきとした体」
健康な心身・安全な生活のために**

- ①健康に暮らす力の育成
(運動の日常化・保健指導・食育)
- ②安全に暮らす力の育成
(交通安全・防災・不審者対応)

今年度の重点目標

○伝えあう力の育成(指導方法の改善と共有化)

- ①学級経営の中で
- ②授業の中で
- ③挨拶・言葉遣い

○問題解決学習・体験的学習の推進 (学びに向かう力の醸成)

- ◇体験的な活動を多く取り入れ、実感を伴った学びを深める《活用力》
- ①総合的な学習の時間で
- ②授業の中で
- ③特別活動の中で
- ④宿題の工夫
- ⑤クロムブックの活用

○基礎的な知識及び技能の定着のための授業改善

- ①誰にでもわかりやすい授業づくり(基礎基本の定着)
- ②先が見通せる学習過程の確立
- ③文章を書く力の育成

○道徳教育の充実

- ・道徳教育の推進(人権意識・思いやり・あいさつ・言葉遣い)
- ・低学年も機会を見つけて交換授業を
- ・考える道徳
- ・善悪の判断をきちんとさせる

教育活動を支えるもの 保護者や地域に開かれた学校づくり(発信と収集)

- ・授業参観・コミコミ day・懇談会・個人面談・学校行事・学年行事・音楽発表会・各種たより
- ・メール配信・ホームページ(ブログ)・PTA活動・学校評価・学校評議員会・懇話会・公民館
- ・民生児童委員会議・交通指導 他

◇チーム大沼について

①学年内で

- ◇学年内をオープンに
 - ・学級の個性は大事だが「自分のクラスだけ特別」な対応はしない。
 - ・学年に情報を伝え共通理解を。

②全校で

- ◇スタンダードをもとに共通した指導を
 - ・誰に聞いても同じ答え…子どもも保護者も迷わない。
- ◇自分の学年でなくても声をかける、間違いを正す。

③働き方改革の視点から

- ◇学年会の効率化
 - ・見通し
 - ・何を話し合い、何を決定するのか明確にする。
- ◇無理のない範囲で交換授業を(教材研究の軽減)
交換が難しくても学年内で教科担当を決め教材研究をする等の工夫を考える。
- ◇単元の見通しを持ち授業を進め、他教科との関連も意識を

④研修の充実・報告

- ◇可能な限り研修に参加を
- ◇指導教諭や指導主事の活用や校内での指導教諭ミニ研修や、ミニ研究会の開催
- ◇研修に出た後のフィードバック→簡単でもよい。でも、確実にみんなに広める。